

「Peace Art project in ひろしま実行委員会」の活動を見学しました

2026 年 8 月 8 日（土）に、広島市中区の旧日本銀行広島支店で開催された「2026 平和と美術と音楽と～10 周年～」を見学しました。



「Peace Art project in ひろしま実行委員会」は、広島の被爆建物・旧日本銀行広島支店を会場とし、国内外のプロアーティストとともに、子どもたちが音楽やアートを通じて楽しみながら平和について考える文化事業を実施しておられます。

10 周年を迎えられた今年度は、平和記念式典が開催された 8 月 6 日を挟み、8 月 5 日から 8 月 9 日までの 5 日間にわたって開催されました。これまでに培われた国際的な芸術ネットワークを活かし、国内外の音楽家や芸術家の協力のもと、演奏やアート制作、ワークショップを通じて表現力や共感力を養うとともに、平和を自らの言葉や感性で受け止め、未来へ伝えていく力を培うことを目指して取り組まれたそうです。音楽やアートを通じて「表現する喜び」や「響き合う心」を体験し、芸術が人と人とを結び、平和の大切さを子どもたち自身が感じ取ることでできる機会を提供されました。

8 月 8 日には、子どもたちによるステージが行われると伺い、見学に行ってきました。子どもステージのトップバッターは、広島市立小学校に通う小学 4 年生のピアニストです。冒頭、「音楽を楽しめるのは平和だからこそ。その思いを感じてもらえたらうれしいです」とあいさつされ、爆心地から約 1.8km の地点で被爆した「みさこさんの被爆ピアノ」を用いて 5 曲を演奏されました。会場となった旧日本銀行広島支店は、石造りの重厚な建物で、高い天井



に音色が美しく響き渡ります。荘厳な雰囲気の中で奏でられるやわらかな調べに、来場者の皆さんも静かに聴き入っていました。

続いて、広島で活躍されている音楽家のお母さまとの連弾が披露されました。演奏に先立ち、お母さまから「音楽を通して平和について考え続けてほしい」とのお話があり、その思いが込められた温かい演奏に、会場は大きな拍手に包まれました。

次に登場したのは、広島ジュニアオーケストラの皆さんでした。同オーケストラには3歳から18歳までの約30人の団員が所属しており、1994年の設立以来、350人を超える卒団生を輩出してこられたそうです。当日は、その卒団生のお一人で、現在ドイツで活躍されているプロのバイオリニストが帰省中とのことで来場され、冒頭で日本で活躍されている方とともに数曲を演奏されました。その後はジュニアオーケストラのメンバーに加わり、子どもたちと息の合った演奏を披露してくださいました。ゆったりとした美しい旋律に耳を傾けながら、ステージ上の子どもたちはもちろん、世界中の子どもたち、そして今なお戦禍の中で暮らす子どもたちが笑顔で過ごせる日が一日も早く訪れることを願い、平和を希求し続けることの大切さを改めて実感し、胸が熱くなりました。また、最後に演奏された「大きな古時計」では、幼い団員2名がハンドベルで参加し、演奏に華を添えました。愛らしくも堂々とした演奏に、会場からは温かく大きな拍手が送られていました。

音楽ステージのほかにも、絵画をはじめとする数多くのアート作品が展示されており、多彩な表現に触れることができました。会場は期間中自由に出入りできるため、ふらりと立ち寄るだけでも心豊かな時間を過ごすことができます。来年も同時期に開催される予定とのことですので、皆さまもぜひ一度足を運ばれてはいかがでしょうか。音楽やアートを通じて平和について考える、貴重な機会になることと思います。

(本郷)

